

2026 年度入試

奈良大学

総合型選抜(AO入試)第1回

各学科の適性確認課題

奈良大学入学センター

(20250426 版)

国文学科 課題

課題内容

奈良大学文学部国文学科の紹介サイトで公開される模擬授業動画①～⑥を閲覧し、その中から1つ選び、授業内容の要約と、あなたがその授業から学んだことを、レポートとして作成してください。

奈良大学文学部国文学科の紹介サイト

<https://www.nara-u.ac.jp/faculty/jpn/>



模擬授業動画①「外地文学とその時代」



模擬授業動画②「江戸時代の『黄表紙』と出版」



模擬授業動画③「古典の本文は変わる」



模擬授業動画④「日本語の歴史」



模擬授業動画⑤「近代小説論」



模擬授業動画⑥「神話伝承論」



課題の作成要件

- ① パソコンで入力し、A4サイズで印刷すること。
- ② 自分で考えたタイトルをつけ、氏名を書くこと。
- ③ 最初にどの模擬授業動画を要約するかを書くこと。
- ④ 授業内容の要約は 400 字程度、その授業から学んだことは 1,600 字程度 で書くこと。
- ⑤ 1 ページあたり 40 字×20 行 で設定すること。
- ⑥ 文字の大きさは 10.5 ポイント とする (Word の標準的な大きさ)。
- ⑦ 末尾に総字数を記入すること。
- ⑧ ホッチキスで綴じて提出すること。

※今回の課題は形式面も重視していますので、上記の作成要件をしっかりと守るようにしてください。

史学科 課題

課題内容（発表資料）：自分で作成した何らかの成果（論文・年表・地図などの作品）を提出。

（国・地域・時代を問わず、自分で設定した歴史上のテーマ）

※「発表資料（課題）」の記入用紙は、各自で用意してください。様式、分量等に指定はありません。

なお、「発表資料（課題）」に加えて、「発表内容（発表予定のタイトルとその内容：800字程度）」の提出が必要になります。

※提出期間：8月19日（火）～9月1日（月）締切日必着

※9月13日（土）の適性確認日に、事前に提出した「発表資料（課題）」を基に、15分程度で発表し、教員との質疑応答を行います。

※参考資料として、以下の「**歴史達人入試体験記<世界史編>**」をご覧ください。

歴史達人入試
体験記
〈世界史編〉

高校の教科書に出てこない ヴィシーフランスを研究しました

ー歴史達人入試では、どのようなテーマでどのような成果を発表しましたか。

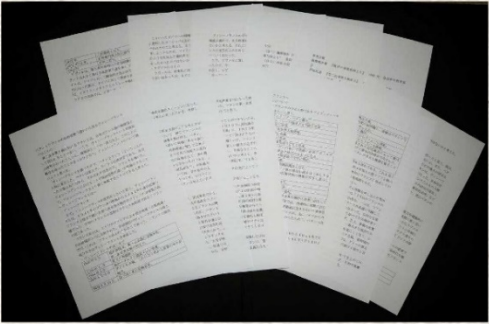
高校の教科書には出てこないのですが、1940年にフランス中部の町ヴィシーを首都に成立したフランスの政権、**ヴィシーフランス**をテーマに研究成果を発表しました。私の場合、オンラインでの発表でしたので、事前に作成した資料や年表を大学へ送り、それをもとに口頭で発表をおこないました。

ー研究テーマにたどりついたきっかけは何ですか。

もともと大学に入って現代ヨーロッパの歴史について学びたいと考えていたのですが、歴史達人入試のテーマを探しているなかで、**教科書に出てこないところにすぐ興味がわき、取り組んでみよう**と思い立ちました。

ー研究成果をまとめるまでに、とくに心がけたことや苦心したことは何ですか。

教科書に出てこないため、関連する資料がすぐにみつからないことに苦労をしました。そのため、地元の大きな図書館で参考図書を探したり、また、国立国会図書館のデジタル情報などもみて、調べを進めていきました。おもに自分自身で調べを進めましたが、高校の先生方のアドバイスももらいました。



佐藤さんの発表資料



佐藤真さん 徳島県立つるぎ高校

ー大学では、どのような研究をしようと考えていますか。

ヴィシーフランスについて、もっと深く研究していきたいと考えています。そのため、現在は大学の授業でドイツ語を一所懸命学んでいます。

ー先輩として受験生へアドバイスをお願いします。

とにかく自分が興味をもてるテーマを見つけることが大事だと思います。そうすれば、調べていく作業自体は苦勞ではありませんし、むしろ楽しいことだと気づいていくようになります。

地理学科 課題

次の写真（A～Hの8枚）から2枚を選択し、それらの写真から読み取れること、考えられることを800字程度でまとめてください。

なお、2枚を関連させて考察することも可とします。



A



B



C



D

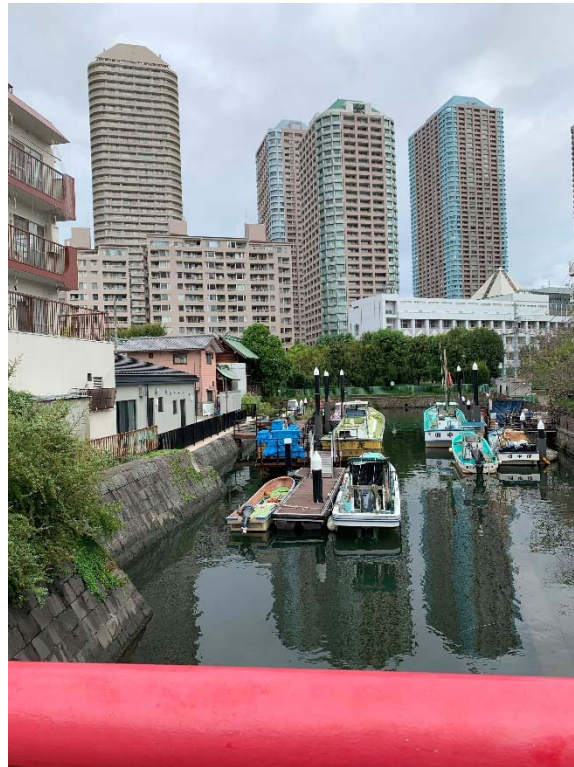
<次ページに続きます>



E



F



G



H

文化財学科 課題

課題内容

関心のある文化財を一つ取り上げて、調べ、考え、発表資料を作成して下さい。9月13日(土)の適性確認日に、発表資料を用いた15分以内のプレゼンテーションをしていただきます。

発表資料とプレゼンテーションについて

- ・身近な史跡、博物館で見たり、本を読んだりして知った文化財など、どのようなものを選んで構いません。
- ・プレゼンテーションはオンラインで実施します。
- ・発表資料の様式、分量等に指定はありません。

毎年、エントリーされる皆さんは、オンラインでのパワーポイントの画面共有、レジユメの使用、紙芝居風など、創意工夫をこらした自分らしい発表資料を作成されています。最後に、調査に用いた参考文献を記載して下さい。

- ・発表資料は、エントリー時に、その他の提出書類とともに提出して下さい。

発表資料は、プリントアウトしたり、複写したりして紙で提出して下さい。

提出期間

8月19日(火)～9月1日(月) 締切日必着

心理学科 課題

奈良大学社会学部心理学科のサイトに公開されている Web 授業の体験動画①～③を試聴してください（下記 QR コードもしくは URL から試聴可能）。動画①～③を試聴し、その中から1つ選んで、動画の要点（400 字程度）と動画から学んだこと（400 字程度）、合計 800 字程度にまとめて提出してください。

課題作成にあたっての注意点

- ・ 指定された原稿用紙を用いてください
- ・ 黒色ボールペンで書いてください
- ・ どの動画を要約するか最初に書いてください
- ・ 課題はホッチキス止めしてください

Web 授業の体験動画①「やる気」について考えてみよう！（與久田 巖）



<https://youtu.be/CUDMxA9zsOU>

Web 授業の体験動画②「攻撃！？」（今井 由樹子）



<https://youtu.be/itXPI4aEP44>

Web 授業の体験動画③考え方のクセを探してみよう（鈴木 孝）



<https://youtu.be/UikKVJ12ys4>

総合社会学科 課題

近年、日本のインバウンド観光は急成長を遂げ、2024年には過去最多の訪日外国人を記録した。一方で、オーバーツーリズムによる住民の生活環境への影響や観光地の魅力低下といった課題も顕在化している。以下の社説を踏まえ、日本の観光をより良くするために必要な対策についてあなたの考えを800字以内で論じなさい。

(社説) インバウンド過去最多 生活環境守る視点忘れず

来訪者の数を増やすだけでは、観光地としての魅力を損ないかねない。暮らしを守り、地域の価値を高める施策に軸足を移す時だ。2024年の訪日外国人(インバウンド)が約3687万人となり、過去最多を更新した。コロナ禍の影響が払拭される中、円安で日本への旅行に値ごろ感が強まったことも追い風となった。

外国人が国内で使ったお金は8兆円を超える。外貨を獲得できる点では輸出と同じ効果があり、自動車に次ぐ稼ぎ頭となっている。政府は30年に6000万人を受け入れる目標を掲げるが、課題は多い。混雑やマナー違反、ごみの増加といった問題が一部地域で深刻化している。旅行者が悪い印象を抱くだけでなく、住民の生活を脅かす。鉄道・バスの増便や、マナーを説明するピクトグラムの一統化といったオーバーツーリズム対策を、政府は講じている。旅先が特定の地域に偏る状況を是正するため、地方の情報発信も強化する。

だが、初めて訪日する人が増え、東京や京都など定番の観光地に集中する傾向はむしろ強まった。映画・アニメの舞台を訪れる「聖地巡礼」や、ネットで拡散した情報をもたらす混雑も目に付く。住宅地も含まれるため、来場制限などの対策を取りにくい。混雑状況を知らせるアプリの開発など、きめ細かな情報を提供し、人出を分散させる必要がある。旅行者に宿泊税を課す動きも広がっており、既に11自治体が導入した。京都市は1泊当たりの最高額を現行の1000円から1万円に引き上げる方針だ。

受け入れ態勢整備の財源となるが、観光の裾野は広く、道路整備なども対象になり得る。むやみに用途を広げれば、混雑緩和などに充てる税の趣旨から離れる。住民の意見を聞き、旅行者の理解を得られる使い方を考えるべきだ。用途を公開し、透明性を確保することも欠かせない。

観光の魅力の一つに、交流によって旅行者と地域住民が相互理解を深めることがある。摩擦を生むようでは本末転倒だ。政策の目標を集客数と消費額から、顧客の満足度や生活環境の改善などに切り替えるべきだ。量から質への転換が急務である。

毎日新聞 2025年2月11日